



特集

いま

— 剣淵高校「未来のしんろ系列」の現在とこれから —

未来のしんろ系列とは？

未来のしんろ系列は、令和3年に剣淵高校で新設された系列です。この系列は、普通教科を中心にデザインされた教育プログラムに探究型教科を組み合わせた独自の授業スタイルが特徴です。また、「しんろ」という文字がひらがな表記となっている理由は、「進路」「針路」「新路」という三つの意味を含んでいるためです。この系列は、地域の担い手を育成することを目的として設立されました。

今まで未来のしんろ系列で行ってきた取り組み

未来のしんろ系列は、進学や就職に幅広く対応した教育を提供しています。この学校では、普通教科の充実と探究型授業の2つのアプローチを組み合わせています。普通教科と探究型教科を結びつけ、SDGs（持続可能な開発目標）をカリキュラムに組み込んだ授業が展開されています。

2年次では、情報、数学、国語、論理・表現などの普通教科に加え、絵本探究、地域探究、課題研究などの探究型科目が提供されます。

3年次では、国語表現、日本史探究、政治経済、数学、英語、生物などの普通教科に加え、情報活用、進路探究、課題研究などの探究型科目が展開されます。

さらに、系列横断的取組の一環として、未来のしんろ系列では学校農業クラブ校内実績発表大会で研究成果を発表し、系列間での学習活動を推進しています。

また、農業国際系列や生活福祉系列と同様に、2年次では進路に合わせた職種を体験する「進路インターンシップ実習」、3年次では大学などを体験する「進路アカデミックインターンシップ実習」が提供されています。未来のしんろ系列は、幅広い教育アプローチと実務経験を組み合わせ、生徒たちの未来をサポートしています。



未来のしんろ系列では、S D G sを学習の中心に据えた授業スタイルが特徴です。現在の課題探究では、「飢餓をゼロに」するS D G sの2番目を達成するために、生徒が主体的に地域に関わっていき、ナマズとドジョウの飼育を通じて食糧資源の確保や飼育環境の整備に取り組んでいます。これにより、地域の食糧供給を持続可能にすることを目指しています。

また、自然エネルギーの有効活用を追求し、ソーラーパネル発電システム製作を行い、夏季の電力確保やナマズの飼育に活用しています。さらに、北海道でほとんど実績のないモリंगाの栽培や利用に関する研究も行われています。生ごみを減らし、ナマズの餌のコストを削減するために、ミミズの試験飼育も実施中で、学校で発生する紙ごみをミミズの餌として再利用しています。

これらの活動は、伝統的な座学にとどまらず、五感を活かした探究学習を推進し、授業内容に実践的な要素を取り入れています。さらに、他校とも連携し、ナマズの飼育に関する情報共有と研究を進めています。未来のしんろ系列は持続可能な未来に貢献するための独自の学習体験を提供しています。

剣淵高校は町とともに、未来のしんろ系列の始動から緊密に連携し、今や未来のしんろ系列の一期生が自分の進路決定に向け動き出している最中です。

この系列では、普通教科と探究型学習を組み合わせた複合的な教育が提供され、生徒の成長を促進しています。生徒は自らが興味を持つ分野で研究し、大学進学目標を明確にすることが出来ます。今後この学習システムを深め、高大連携を推進し、教育システムを発展させる予定です。

現代社会ではS D G sや他の複雑な課題が存在し、非認知能力（意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、自制心、創造性、コミュニケーション能力など）がますます重要視されています。

未来のしんろ系列の学習は、生徒の主体性を引き出し、非認知能力を向上させるプログラムとして有効だと考えています。時代の複雑な課題に対処し、シンプルで効果的な解決策を見つける生徒を育てることが、私たちの目標です。未来のしんろ系列は、学生の成長と社会への貢献をサポートする新たな教育プログラムを提供しており、これからもその使命を果たしてまいります。

未来のしんろ系列で学ぶ生徒の声

最初は農業に興味を持ち、剣淵高校を志望しました。友達が進学志望で未来のしんろ系列を選んだことから、私も進学を考えるようになり、この系列を選びました。

未来のしんろ系列に入学してから、私はナマズの飼育活動に取り組んできました。飼育には多くの困難がありましたが、2年次の見学旅行で、空港から輸送して無事に剣淵高校まで持ち帰ることができました。

この系列の魅力は、普通教科とは異なる新しいスタイルの普通科目です。ナマズの飼育や実習を経験できるため、進学や将来の就職への面談で話したいことがたくさんあります。

3年次 浅野 陽斗

未来のしんろ系列を選んだ理由は、大学進学を考えながらも、普通の勉強と生徒主体の研究が結びついたこの学校のユニークなカリキュラムに魅力を感じたからです。授業では他の学校では得られない貴重な経験ができます。たとえば、ナマズの飼育やソーラーパネル発電システムのプロジェクトなどがあり、これらは大学進学にも役立つでしょう。

未来のしんろ系列の先生たちは私たちの声に耳を傾け、納得するまでサポートしてくれます。だから、活動が楽しく、やる気が出ます。特に魅力的なのは、他の学校よりも自分のアイデアを実現し、自分の考えを表現できることです。この環境で自分らしさを大切に育んでいけるのが素晴らしいと思います。

3年次 芳賀 大陽

未来のしんろ系列では、普通教科学習に加え、興味を引いた自主的な探究型学習や五感を活かした研究・実習が行われています。私は大学進学を目指し、この系列を選びました。

去年から、私たちはドジョウとナマズの飼育に取り組んでいます。高栄養価のナマズを育て、ウナギの代替食として剣淵町で養殖し、SDGsの2番目である「飢餓をゼロに」に貢献し、地域振興を目指しています。

このプロジェクトを通じて、繁殖方法や飼育環境を向上させるために仲間と協力し、絆を深めました。この系列の魅力は、自分のアイデアを実現する力を身につけることだと思います。

3年次 本田 恭輔

未来のしんろ系列を選んだ理由は、将来大学に進学したいと思ったからです。最初は、普通の授業に集中するつもりでしたが、ここでは通常教科だけでなく、SDGsの一環として、ナマズやドジョウの育成から、ソーラーパネル発電システムの設計といった、他の学校では経験できない面白い授業を受けてきました。

未来のしんろ系列の3年生は、4人ですが、少人数だからこそお互いの考えを共有し合い、一人ひとりが自分の目標を追求する環境が整っています。この系列を選んでとてもよかったです。

3年次 阿部 勇心